

広報しもかわ
しもかわゼロカーボン通信
(集約版)



しまかわ ゼロカーボン通信



■お問い合わせ
政策推進課
ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線235 ☆ 4-251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



しまかわの「ゼロカーボン」

こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。今年2月に設置されたゼロカーボン推進戦略室では、2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指し、ゼロカーボン推進に向けた取り組みを進めています。

今月から連載する「しまかわゼロカーボン通信」では、ゼロカーボンに関する用語や身近で実践できる取り組みを紹介します。

今回は「ゼロカーボン（脱炭素）」とは何かについてお伝えします。

「ゼロカーボン」ってなに？

地球温暖化の原因となる①温室効果ガスの②実質的な排出量ゼロを実現する社会のことをいいます。



Check!



① 温室効果ガス

大気中に含まれる二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）などのガスの総称です。

温室効果ガスには、太陽から放出される熱を地球に留め込み、地球を暖める働きがあり、増えすぎると地球温暖化につながります。

② 実質的な排出量ゼロ

温室効果ガスの排出量を抑えようとすると、植林や間伐などによる吸収量を差し引いて、温室効果ガスの合計を実質的にゼロにすることをいいます。

この温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを達成する考え方をゼロカーボンと呼んでいます。

下川町では、豊富な森林資源を活用しながら、持続可能なまちづくりを推進しています。脱炭素の取り組みのひとつとして、役場や小学校、病院などの公共施設に、計10基の木質バイオマスボイラから、暖房・給湯用の熱を供給しています。

令和4年3月には、「ゼロカーボンシティしまかわ」宣言を行い、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを掲げました。

今後は、この「ゼロカーボンシティしまかわ」を目指すための、具体的な計画を策定する予定です。



下川町の地域熱供給施設(一の橋)

今日から実践!ゼロカーボン

第1回 毎日の車移動を徒歩に

みなさん、通勤や町内の買い物は何を利用していますか?私は近い距離でもついつい車を使いがちです…。

実は、車の利用は多くの二酸化炭素を排出しています。1日10分車を控えるだけで、年間約580kg※の二酸化炭素を削減できます。

天気の良い日など、ちょっとした移動を徒歩や自転車に変えてみませんか?

※国土交通省の資料より

「みなさんが実践する、ゼロカーボンを募集します!」

みなさんが実践している、ゼロカーボンにつながる取り組みを募集しています。

日頃のちょっとした取り組みや新たにチャレンジしたことなどがありましたら、ゼロカーボン推進戦略室にメールなどでご連絡ください。応募いただいた取り組みについては、この通信で紹介させていただきます。



しもりんエコポイントが始まります!

しもりんエコポイントとは、町民が行う環境に配慮した行動に対して進呈するポイントです。町内の「しもりんポイントカード」が使えるお店などで、通常のしもりんポイントとして使うことができます。お得なポイントで家計にやさしく、ゼロカーボンにも繋がりますので、ぜひご参加をお待ちしています。詳細は今月の公区回覧をご覧ください。

ゼロカーボン NEWS

実施期間 ①2022年7月1日～9月30日
②2022年12月1日～2023年2月28日
※利用状況により早期終了あるいは延長することがあります。

受付時間 月～金曜日 9:00～16:00 (年末年始を除く)
土日祝日 10:00～15:00

受付場所 下川事業協同組合

環境に配慮した行動で
しもりんポイントが貯まる!!
1ポイント1円でお買い物などに使えます



◎ポイントがもらえるメニューの一例

- ・月6万歩以上歩くとポイントがもらえる、「歩こうしもかわ」への参加(200ポイント～1,000ポイント)
- ・省エネ型家電への買い替え(1,000ポイント/1回限り)

あとがき

「しもかわゼロカーボン通信」第1号いかがだったでしょうか。耳慣れない言葉が多かったと思いますが、これからできる限りわかりやすくお伝えしていきますのでよろしくお願いします!

次回は、「二酸化炭素1tってどれぐらいの量?」「電化製品はどれぐらい二酸化炭素を排出するの?」など、「二酸化炭素に関するはなし」をテーマに紹介したいと思います。(佐藤)



■お問い合わせ
政策推進課
ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線235
☆ 4-251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、「ゼロカーボン」とは何かについて紹介しました。今月号では、「二酸化炭素に関するはなし」をテーマに紹介していきます。

二酸化炭素に関するはなし

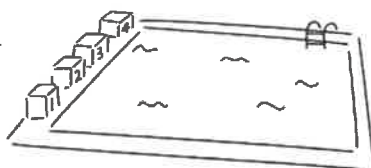
「ゼロカーボン」を目指すうえで、二酸化炭素を削減することが重要です。しかし、例えば二酸化炭素1トンの量はいったいどれくらいなのか、削減するにはどれくらいの森林が必要なのかなど、イメージが湧きづらいですね。今回は、そんな二酸化炭素の豆知識を、いくつか紹介します。

Check!

①二酸化炭素1トンってどのくらいの量なの?

二酸化炭素1トンは、体積で考えると、おおよそ25mプールと同じ大きさです。

長さ25m×幅13m×深さ1.5m=487.5m³
二酸化炭素1トンの体積=509m³



二酸化炭素1トンは、トドマツの木112本が1年で吸収する量に相当します。(北海道水産林務部林務局の資料をもとに計算)

②二酸化炭素1キロはどのくらい?

二酸化炭素1キロは、体積で考えると浴槽約2杯分と同じ大きさです。

浴槽の体積を250Lで計算。
二酸化炭素1キロの体積:0.509m³=509L



③1人が1年間に排出する二酸化炭素ってどれくらい?

1人当たりの年間の二酸化炭素排出量は、全国平均で1.25トン、北海道では2.26トンといわれています。

(環境省 令和2年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査より)

いかがでしょうか。1人分の二酸化炭素を削減するだけでも、かなりの量があるということがイメージできたのではないのでしょうか。

「ゼロカーボン」の達成に向けては、一人ひとりできることから取り組んでいくことが大切です。



「みなさんが実践している
ゼロカーボンを募集します！」

みなさんが実践している、
ゼロカーボンに繋がる取組み
がありましたら、本ページの
お問い合わせ先までご連絡く
ださい。応募いただいた取り
組みは、この通信で紹介させ
ていただきます。

今日から実践!ゼロカーボン

第2回 電気代の節約にもなる! LED電球のススメ

家のリビングなどを照らす電球には、主に白熱電球とLED電球の2つがありますが、より省エネなのはLED電球です。

LED電球に切り替えることで、年間で52.8kgの二酸化炭素が削減できます。

また、寿命も白熱電球より長く、電気代を年間で約2,430円※節約できます。

環境にもお財布にも優しいLED電球、この機にぜひ変えてみてはいかがでしょうか。

※54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換した場合

※資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド」より



ゼロカーボン NEWS



勉強会の様子

7月4日に、ゼロカーボン推進勉強会「自分ごとを考える『地球にやさしい暮らしかた』とは」を開催しました。町のSDGs推進アドバイザーの枝廣淳子氏を講師に、「ゼロカーボン」、「脱炭素社会」とは何かや、温暖化の原因である二酸化炭素について、暮らしのなかのどのような場面で排出しているかなどをお話しいただきながら、参加者同士で学びあいました。勉強会の詳細は次ページに掲載の「ありがたい姿探検記」をご覧ください。

勉強会「自分ごとを考える『地球にやさしい暮らしかた』とは」を開催しました!

実施期間 ①2022年7月1日～9月30日
②2022年12月1日～2023年2月28日
※利用状況により早期終了あるいは延長することがあります。

受付時間 月～金曜日 9:00～16:00 (年末年始を除く)
土日祝日 10:00～15:00

受付場所 下川事業協同組合

環境に配慮した行動で
しおりんポイントが貯まる!!
1ポイント1円でお買い物などに使えます



詳細はコチラ
(町HP)

しおりんエコポイントとは、環境に配慮した行動に対して進呈されるポイントです。お得なポイントで、ゼロカーボンにも繋がりますので、ぜひご参加ください。

しおりんエコポイント2022にぜひご参加ください!

あとがき

下川もようやく夏本番ですね。最近は暖かい日が続いているので、自転車や徒歩での移動にチャレンジしています。が、少し歩いただけで次の日筋肉痛に…。日頃いかに車に頼っているかが身になりました。

それでは、来月のゼロカーボン通信もお楽しみに!(佐藤)





■お問い合わせ
政策推進課
ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線 235 ☆ 4-2511 02
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、「二酸化炭素に関するはなし」を紹介しました。今月号では、「再生可能エネルギー」をテーマに紹介していきます。

二酸化炭素はどこから

地球温暖化の原因となる温室効果ガスのうち、最も多くを占めるのが二酸化炭素（CO₂）です。CO₂は主に石油や石炭などの、化石燃料を燃やして発電するなど、エネルギーを作る際に排出されています。

Check1!

①化石燃料とは

大昔にいた動物や植物が、長い年月をかけて変化してできた燃料。石油、石炭、天然ガスなどが当てはまります。

②エネルギーは何に使われる?

エネルギーは日常生活のいたるところで使われています。

- ・車を動かす(ガソリン・軽油)
- ・電球で室内を明るくする(電力)
- ・お部屋やお風呂を暖める(灯油)
- ・調理をする(LPガス)

再生可能エネルギーとは

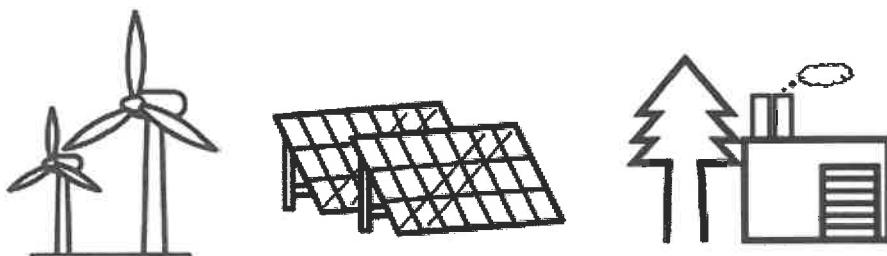
再生可能エネルギーは、太陽光や風力など自然界に常に存在するエネルギーのことです。その大きな特徴は「枯渇しない」、「どこにでも存在する」、「CO₂を排出しない（増加させない）」の3点です。化石燃料をエネルギー源として発電する電力や熱と違い、エネルギーを作る際にCO₂を排出しません。ゼロカーボンを目指すうえで、再生可能エネルギーを活用することが重要です。

Check2!

主な再生可能エネルギー

太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・バイオマス※など

※バイオマス…再生可能な生物由来の有機資源(ただし、化石燃料は除く)のこと





下川町の「再生可能エネルギー」の取組は？

下川町では、他に利用方法がない木を燃やし、熱エネルギーとして利用する取組を進めています。

木質バイオマスボイラで燃やした熱で水を暖め、温水を循環させることで、暖房や給湯の熱源として利用しており、公共施設で使用している熱需要のうち、約7割を森林バイオマスで自給しています。

また、化石燃料を森林バイオマスに転換したことで年間約3,000万円の燃料費を節約できしており、節約分の一部を財源に、子育て支援の充実を図っています。さらに、将来のボイラ設備の更新費用の積立てにも充てています。

しもりんエコポイント2022開催中!

期間:2022年7月1日~9月30日

受付:事業協同組合 (月~金 9:00~15:00
土日祝日 10:00~16:00)



詳細はこちら↑

環境に配慮した行動で
しもりんポイントGET!

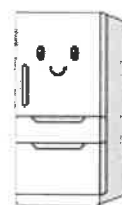


今日から実践!ゼロカーボン

詰め込みすぎに注意! 冷蔵庫で省エネ実践!

買ってきた食材を保存、冷凍できる冷蔵庫は、日常生活に欠かせない家電です。最近では、大容量かつ省エネ性能が高いものが多く出回るようになりましたね。

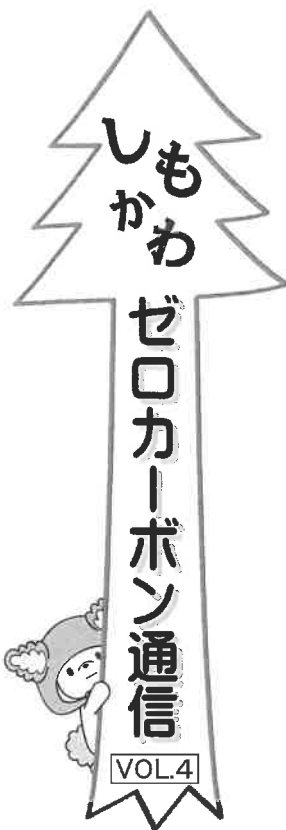
そんな冷蔵庫ですが、実はものをいっぱい詰め込むより、半分程度に収めたほうが、年間で21.4kgのCO₂を削減することができるのです。また、電気代も約1,180円の節約になります。詰め込みすぎに気を付けることで、冷やすために使う電気を抑えることができるので、ぜひお試しください。



あとがき



ゼロカーボン通信vol.3をお届けしました。ゼロカーボンを達成するには、まずは省エネ、そして化石燃料に替わって「再生可能エネルギー」を利用していくことがとても大切です。それでは、次回のゼロカーボン通信もお楽しみに!



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、「再生可能エネルギー」について紹介しました。今回は、7月に開催された、みんなでゼロカーボンについて学べる場である「ゼロカーボン推進町民勉強会」を紹介したいと思います。

第1回ゼロカーボン推進町民勉強会(7/4開催)

下川町のSDGs推進アドバイザーと下川町応援大使を務めていただいている、枝廣淳子氏を講師に、第1回ゼロカーボン推進町民勉強会を開催しました。

テーマは、「自分ごとに考える『地球に優しい暮らし方』」。地球温暖化やゼロカーボンについての学びを深め、自分ごととして取り組んでいくことが勉強会の目的です。内容を次に紹介していきます。

地球温暖化の影響は？

近年、一段と耳にするようになった「地球温暖化」という言葉。

温暖化により世界、そして身近ではどのようなことが起こっているのでしょうか。勉強会では最初に、下川町で感じる温暖化の影響と、世界的な影響について意見を出し合いました。

Check1! ワークショップで出た意見

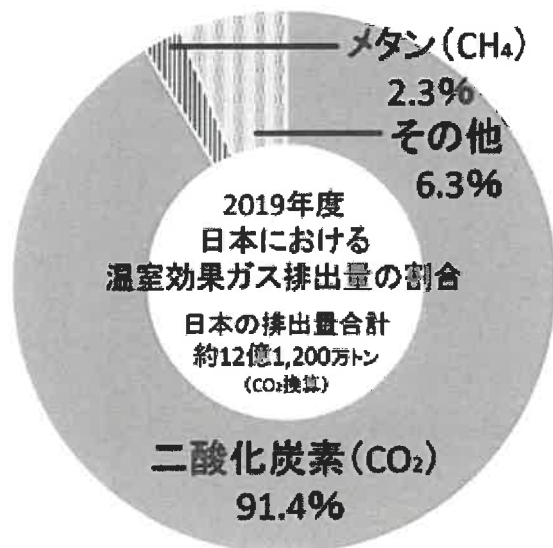
下川町で、地球温暖化の影響を感じることは？

- ・温暖化の影響で、下川町でも暑い日が多くなったり、雪解けが早くなっている
- ・アイスキャンドルミュージアムの日にしばれないことがある
- ・アスパラの最終注文日が早くなった

下川町に限らず、日本や世界的に地球温暖化の影響を感じることは？

- ・日本各地の夏の気温がどんどん高くなっている
- ・北海道でとれる魚の種類が変わった
- ・干ばつや洪水などの災害が増えている

温暖化の犯人は？
温暖化の犯人は温室効果ガスです。温室効果ガスについては、7月号の「ゼロカーボン通信vol.1」でも紹介した、7種類からなる地球温暖化の原因となるガスのことです。この温室効果ガスのうち、日本で排出量が最も多いのはCO₂(二酸化炭素)です。なんと温室効果ガス排出量のうち約90%を占めています。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>) を基に作成

■お問い合わせ
政策推進課
ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511-内線235
☆ 4-2511-02
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



ゼロカーボンを目指して
一人一人できることから
キーワードは「減らして、
替える」ことです。まずは省
エネから始めて、どうしても
必要なものは、再生可能エネ
ルギーに切り替えていくこと
が重要です。

最後に、勉強会の感想やさ
らに知りたいことなどを参加
者で話し合い、終了しまし
た。



CO₂はどこから出ている？
CO₂は主にエネルギーを
つくる化石燃料から出ていま
す。化石燃料や、エネルギー
が何に使われているかについ
ては、先月の「ゼロカーボン
通信 vol.1.3」でも紹介し
ましたね。

Check2! 一勉強会に参加した方の感想一

- ・CO₂削減のために自分ができることを知りたい!
- ・なるべく車を使わず、徒歩で移動したい!
- ・みんなのできるゼロカーボンの取り組みがあるといい!!



CO₂を減らしていくために、
まずできることから始めてみる
ことが、「ゼロカーボン」を自分
ごととして考える第一歩です。

ゼロカーボン NEWS

第2回ゼロカーボン推進町民勉強会を 開催します!

第2回ゼロカーボン推進町民勉強会を開催します。第1回と同じく、枝廣淳子氏が、地球温暖化の問題や、脱炭素（ゼロカーボン）の取り組みについて解説していただきます。参加者同士で学び合う時間も予定していますので、是非ご参加ください。

◆日時：10月11日(火)18:30~20:00

◆会場：ハピネス大広間

◆申し込み：

お問い合わせに記載のメールアドレスまたは電話番号にご連絡ください
(当日参加、初めての参加も可能です)

今日から実践!ゼロカーボン

意外と省エネ! 電子レンジで時短クッキング!

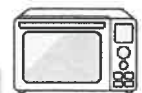
下ごしらえに電子レンジを併用すると、調理時間を短縮できるので節電・節約になります。さらに効率もアップし、栄養も保持できます。

例えば、根菜（ジャガイモ、里芋）を下ごしらえする場合※

	電子レンジ	ガスコンロ
エネルギー消費量	年間で電気 22.01kwh	年間でガス 9.48m ³
二酸化炭素排出量	約 15t	約 60t
金額	約 720 円	約 1,470 円

となり、電子レンジを使う方が年間で約45tのCO₂削減と約750円の節約になります。

※100gの食材を、1lの水（27℃程度）に入れ沸騰させ煮る場合と、電子レンジで下ごしらえをした場合（食材の量等により異なります）。



あとがき

しもかわゼロカーボン通信vol.4をお届けしました。第2回ゼロカーボン推進町民勉強会、是非ご参加をお待ちしています。また、過去のゼロカーボン通信をいつでも見られるよう、バックナンバーをまとめました!以下QRコードからご覧ください。それでは、次回のゼロカーボン通信もお楽しみに!

しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら→



今までにもかかわゼロカーボン通信や、ありがたい姿探検記にて、ゼロカーボンを学べる場である「第1回ゼロカーボン推進町民勉強

- 前回のおさらい
- ・ゼロカーボン通信
 - ・第1回ゼロカーボン推進町民勉強会
 - ・気候変動の犯人はCO2
 - ・電子レンジで省エネと時短クッキングをしよう
 - ・ありがたい姿探検記
 - ・第2回SDGs推進町民会議
 - ・町の政策に当事者の声を取り入れる工夫をする
 - ・「2030年における下川町のありたい姿」の進捗を振り返ろう



第18弾

ありがたい姿探検記



しまかわゼロカーボン通信

VOL.5

お問い合わせ
政策推進課

4-2511内線235

☆4-251102



会」について紹介しました。大注目の第1回に続いて、今回は「第2回ゼロカーボン推進町民勉強会」の様子を共同の特集記事としてお届けします。

第2回ゼロカーボン推進町民勉強会
(10月11日開催)

第2回となるゼロカーボン推進町民勉強会を10月11日に開催し、会場となったハピネスには30名を超える参加者が集まりました。

今回も枝廣淳子先生をお招きし、第1回の勉強会の振り返りも行いながら、ゼロカーボンの実現に向け、何ができるかを参加者同士で話し合いました。

第1回勉強会の

内容はこちらから↓



Check1! ーゼロカーボンの実現に向け何ができるか話し合いで出たアイディアー

①森林・木の利用について

- ・家のまわりに木を植える!
- ・薪ストーブを使ってみる!
- ・木の枝葉を有効活用する!



②節約・再生可能エネルギーについて

- ・使っていないコンセントを抜く!
- ・ガスをできるだけ使わずに調理する!
- ・ソーラーパネルで発電!

③「暮らし」や「もの」の消費について

- ・ものを大事に使う、使い切る!
- ・食品ロスをなくす!
- ・プラスチック製品以外のものを選ぶ(木、紙など)

④自動車・移動手段について

- ・車の利用を控える!
- ・カーシェアリングをする!

⑤感想など

- ・自分から第1歩を踏み出すことが大事!
- ・不便に感じず、楽しめることをやってみよう!

ゼロカーボンを考える際の大事な視点とは？

ゼロカーボンを考えるうえで大事な視点を、
枝廣先生よりお話しいただきました。

**Check2! ーゼロカーボンを考えるための視点ー****①気候変動の原因は、人為的に排出するCO₂にあり!**

CO₂には、木炭などを燃やすなど植物由来のもので排出するCO₂と、化石燃料などを燃やして人為的に排出するCO₂があります。植物由来のCO₂は、もともと植物が成長する際に大気中から吸収したCO₂をそのまま大気中に排出するので、CO₂の排出量は実質プラスマイナスゼロとなります。一方で化石燃料など人為的に排出するCO₂は、吸収していない分を排出するので、CO₂の排出はそのままプラスになってしまいます。この人為的に排出するCO₂を積極的に削減していくことが重要です。

②「エコリュックサック」を考えよう!

ボールペンや野菜など、私たちが普段使ったり食べたりしているものは、実は製造や運搬の過程でCO₂が発生しています。このことを、実際には見えないCO₂をリュックのように背負っていることから、「エコリュックサック」と呼んでいます。

例えばジャガイモで考えると、下川産のジャガイモと外国産のジャガイモでは、運搬の際に発生するCO₂にとっても大きな差があります。

ゼロカーボンを考える際は、このように「見えない」CO₂も考えていくことが重要です。



次回のゼロカーボン推進町民勉強会は？

次回のゼロカーボン推進町民勉強会は、11月末に開催予定です。第2回に引き続き、ゼロカーボンを実現するためにできることを話し合いながら、学びを深めていく場にしたいと考えています。

下川町のゼロカーボンについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。皆さんのご参加をお待ちしております。

あとがき

ゼロカーボン通信、ありがたい姿探検記のコラボ記事をお届けしました。町では今後もゼロカーボン勉強会を開催していきますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。それでは、来月のゼロカーボン通信、ありがたい姿探検記もお楽しみに！

※ページの都合上、今月号の「今日から実践ゼロカーボン」はお休みいたします。

充実版は
公式noteへ



しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



しもかわ ゼロカーボン通信

VOL.6

■お問い合わせ
政策推進課
ゼロカーボン推進戦略室
4-1-2511内線235
★4-251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしもかわゼロカーボン通信では、第2回ゼロカーボン推進町民勉強会「の様子をお届けしました。今回は11月に開催したゼロカーボン推進意見交換会について紹介します。

農業、林業、商工業者との ゼロカーボン意見交換会

11月1日に町内の農業、林業、商工業者の方々を対象に、意見交換会を開催しました。それぞれの分野に分かれて気候変動の影響を感じた出来事を共有し、2050年にゼロカーボンが実現した下川町の姿について話し合いました。



Check1! 各分野で出た意見や感想

農業

- ・温暖化の影響で、豪雨の被害が増えている。
- ・地域で食糧の自給、地産地消を目指したい。

林業

- ・将来的に、林業機械も電気で動くようになるとゼロカーボンに繋がる。
- ・未来を自ら考えることができる人づくり、森づくりを。

商工業

- ・人の労力と新技術を活かした楽しい暮らし方ができるとよい。
- ・集合の住宅を建てるなど、コンパクトなまちづくりを進めることで、様々な課題を解決できそう。

しもりんエコポイント(後半)が始まります!

12月よりしもりんエコポイントが始まります。7/1~9/30で開催した前半では、「歩こうしもかわ」に延べ143人参加いただきました。後半は、12/1~2/28で開催します。「歩こうしもかわ」の他にも、様々なメニューがありますので、ぜひご参加ください。詳細は以下QRコードからご覧ください。

歩こうしもかわ参加者数 (延べ人数)

8,000歩以上...38人
5,000歩以上...45人
2,000歩以上...60人

計143人

(集計期間:7/1~9/30)



今日から実践!ゼロカーボン 食品ロス(食べ残し)をなくして ゼロカーボンを目指そう!

日本の食品ロスの量は、1人1日あたりおにぎり約1個分といわれています。生ごみは水分を多く含み、焼却時に大量のCO₂を排出します。もし家庭と外食の食品ロスがゼロになった場合、1人あたり年間54kgのCO₂を削減することができます。

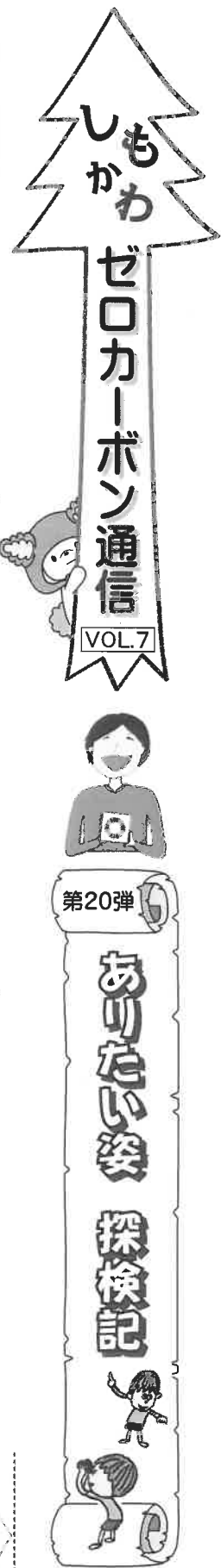
食べきれぬ量を注文したり、食べ残した分は持ち帰るなど、食品ロスを減らしていきましょう。

参考: COOL CHOICE ゼロカーボンアクション30

歩数計の貸し出しを行います!

「歩こうしもかわ」の参加者で、歩数計をお持ちでない人に貸し出しを行っています。下川事業協同組合で貸し出しを行っておりますのでぜひご利用ください。

※貸し出しできる数に限りがありますのでご留意ください。



前回のおさらい

ゼロカーボン通信
・農業、林業、林産業、商工業者とのゼロカーボン推進意見交換会
・しおりんエコポイント（後半）が始まります！（歩数計の貸し出しを行います）
・ありたい姿探検記
・今年の多かったテーマは、まちづくり、気候変動
・若者（ユース）の活躍
・若者は未来世代・次世代ではなく現役世代
・ありたい姿に想いを馳せてください

これまでのゼロカーボン通信やありたい姿探検記にて、ゼロカーボン推進町民勉強会や産業界との意見交換会の開催内容について紹介してきました。年はじめの今回は、町がゼロカーボンを推進するにあたり、現在取り組んでいることや下川町の気候の変化や今後の予測などについて、共同記事としてお届けします。

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を進めています！

町では昨年3月に「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティしまかわ」宣言を行いました。この実現のため、下川町の温室効果ガスの排出抑制を推進する総合的な計画づくりを進めています。

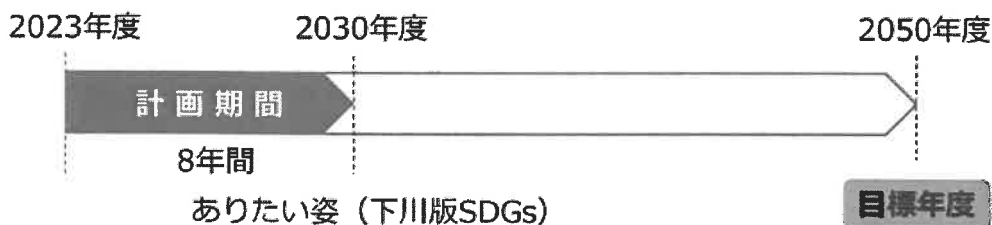
この計画は、町民・事業者・行政などの主体が地球温暖化対策を推進するうえで指針となる役割をもち、二酸化炭素の削減目標、再生可能エネルギーの導入目標を設定し、その目標達成に向けた取組の方向性を示すものです。

この計画の目標年度は2050年、計画期間は2023年から2030年までの8年間とし、2023年度の策定・公表に向けて検討しています。

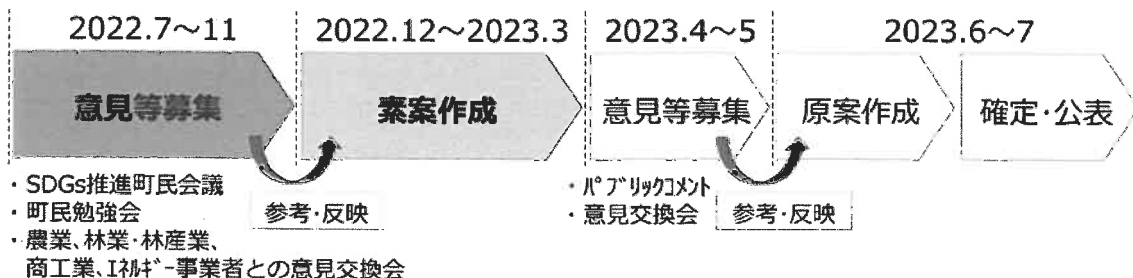
これまでの勉強会などで町民の皆さんからいただいたご意見やアイデアは、計画の「2050年の目指す将来像」や「取組の方向性」などを検討するための参考とさせていただきます。

今後、計画の素案ができましたら、町民の皆様からご意見などを伺う機会の場を考えていますので、改めてご案内いたします。

目標年度と計画期間



計画策定の流れ（予定）



これまでの気候の変化

下川町の気温の変化

年平均気温が44年あたり約1.8℃の割合で上昇

(100年あたりの年平均上昇気温：日本約1.3℃、北海道約1.6℃)

北海道の短時間豪雨(30mm以上/h)の変化

発生頻度が約30年前と比較して約1.6倍に増加

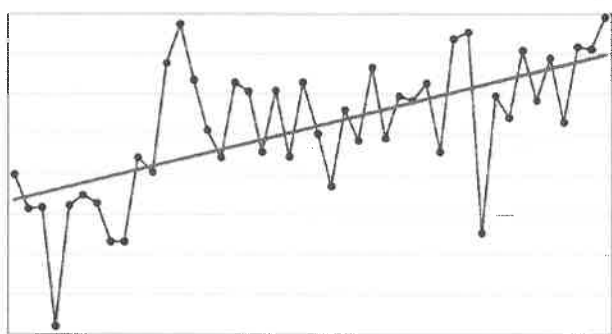
北海道の雪の変化

日本海側の年最深積雪の基準値(30年平均値)に

対する比が、10年あたり約5%の割合で減少

2℃上昇シナリオ
(パリ協定達成)

最大5.7℃
上昇シナリオ
(緩和策なし)



出典) 気象庁観測データを基に作成

これからの気候の変化(21世紀末)

上川地方

年平均気温が

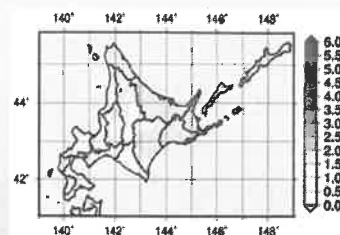
約1.5℃上昇

北海道

短時間豪雨の発生頻度が約1.7倍に増加

年最深積雪が約12%減少

出典) 札幌管区気象台ウェブサイト



上川地方

年平均気温が

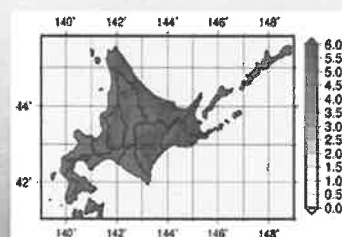
約4.9℃上昇

北海道

短時間豪雨の発生頻度が約4.1倍に増加

年最深積雪が約44%減少

出典) 札幌管区気象台ウェブサイト



12月号でも触れた、2022年の国連の気候変動対策会議「COP27」では、災害や水面上昇など、気候変動の悪影響に対して支援する「損失と被害」が最大の論点となり、被害を受けている途上国への基金が創設されました。

北海道は気候変動の悪影響を受けやすい一方で、日本を含む先進国は途上国に対してこれまで悪影響を与えてきた加害者でもあるため、この基金を通じ途上国の気候変動に対する支援を行うこととなります。

また、パリ協定により、2050年ネットゼロ(ゼロカーボン達成)が世界共通の目標になり、図の2℃シナリオ実現のために、各国はゼロカーボン宣言を行い、取り組んでいます。しかし、排出ゼロのためには国レベルだけでなく地方自治体や企業をはじめとする様々な団体・個人が主体となって対策を講じていくことが重要です。COP27では、国連事務総長が世界の地方自治体や企業、団体を対象とする、ネットゼロに誠実さ、透明性、説明責任を持たせるための10の実践的な基準を発表しました。

その中から下川町にも影響が考えられるものを紹介します。

- ・ 高いレベルの温暖化政策を推進すること
- ・ 温室効果ガス削減目標を短、中、長期で設定すること
- ・ 化石燃料から再生可能エネルギーへ転換する目標を設定すること

次回のCOP28で基準の具体的な運用方法について議論されますが、責任ある森林づくり、バイオマスエネルギー、SDGsなど、多くの取組をしてきた下川町だからこそ、今後何ができるかが問われています。令和5年も挑戦し続けるまちとして何ができるかを考え、実践していきましょう。

■お問い合わせ
政策推進課
☆4-2511内線235
☆4-251102



充実版は
公式noteへ

しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら→



しもかわゼロカーボン通信

VOL.8

■お問い合わせ
政策推進課 ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線 235 ☆ 4-2511 02
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。今回は近年注目されているEV（電気自動車）について紹介します。

EV（電気自動車）とは

車に搭載したバッテリーに電気をため、その電気でモーターを回し走行する自動車です。エンジンは搭載しておらず、ガソリンは使用しません。

EVのメリットは？

- ①環境にやさしい
EVは、充電した電気で走るため、ガソリン車と違い走行の際にCO₂を排出しません。
- ②騒音や振動がない
エンジンの振動がないため、走行時の騒音がありません。
- ③メンテナンスのコストが少ない
エンジンオイルやプラ

グの交換が必要ないため、メンテナンスにかかるコストが少ないです。

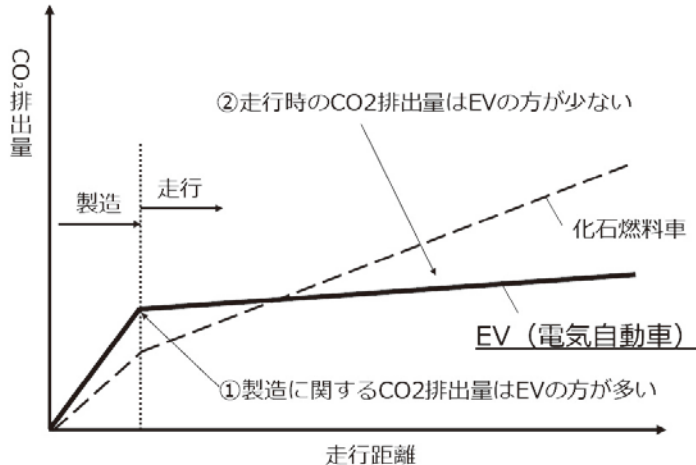
④非常時に電気が使える

災害などの非常時に、EVのバッテリーを電源として、電気を供給することがができます。

EVのデメリットは？

- ①価格が高い
ガソリン車に比べ車両価格が高いです。
- ②充電できる場所が少なく、充電に時間がかかる
現時点では、充電できる場所が不足しており、ガソリン車の給油と比べ充電に時間がかかります。
- ③ガソリン車よりも走る距離が短い
連続で走行できる距離がガソリン車よりも短いといわれています。

Check 1! EVを製造する際に排出するCO₂は？



EVは走行時にはCO₂を排出しませんが、製造の過程ではCO₂を排出します。

製造時の排出量は、ガソリン車と比較して多くなりますが、走行時に排出するCO₂はガソリン車の方が多くなるため、走行距離が長くなるほどEVの方がCO₂を削減することができます。

まとめ

EVの充電速度や航続距離は年々向上しており、比較的短時間の充電で長距離移動が可能なEVも登場してきています。EVはCO₂削減の手段として、さらには非常時の電源としても非常に期待されていますが、導入に向けてはEVのメリットと理解することが重要です。

しもりんエコポイント開催中!

期間:2022年12月1日~2023年2月28日
受付:下川事業協同組合
月~金 9:00~16:00
土日祝日 10:00~15:00



環境に配慮した行動でしもりんポイントGET!

しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



しまかわゼロカーボン通信

VOL.9

■お問い合わせ
政策推進課 ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線235 ☆ 4-251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



しまかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、EV（電気自動車）について紹介しました。今回は気候変動を抑えるために必要な2つの対策について紹介します。

気候変動を抑えるための2つの対策

気候変動を抑える対策として、「緩和策」と「適応策」の2つがあります。

緩和策〜気候変動の「原因を少なくする」〜

緩和策とは、温室効果ガスの排出削減や、森林整備によって二酸化炭素の吸収量を増やすなど、気候変動の原因を少なくする対策の

ことをいいます。気候変動を抑えるためには、まずこの緩和策に取り組むことが重要です。

主な緩和策

- ・エコな移動手段を選ぶ
- ・節電・省エネに取り組む
- ・森林を増やす
- ・再生可能エネルギー（太陽光、バイオマス等）を導入する

適応策〜気候変動の「影響に備える」〜

適応策とは、気候変動による影響を回避したり軽減したりすることをいいます。緩和策を最大限実施したとしても、今後数十年間はある程度の影響は避けられないと言われており、気

候変動の影響に備える対策をしていく必要があります。

主な適応策

- ・災害に備えて防災グッズを整備する
- ・熱中症予防に取り組む
- ・気温の変化や病気に強い作物に切り換える

いかがでしたでしょうか。「緩和策」と「適応策」、2つの対策に取り組み、気候変動の影響を抑え、より良い生活にしていきたいでしょう。



緩和とは？

原因を少なく

2つの気候変動対策

適応とは？

影響に備える



(出典) 気候変動適応プラットフォーム(A-PLAT)ウェブサイトより

しまかわゼロカーボン通信

VOL.10



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、気候変動を抑えるために必要な緩和策と適応策について紹介しました。今回は、ゼロカーボン推進戦略室の新年度の主な取組についてご紹介します。

ゼロカーボン推進戦略室の主な取組

①地球温暖化対策実行計画の策定

町では昨年3月に「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティしまかわ」宣言を行いました。この実現のため、下川町の温室効果ガスの排出抑制を推進する総合的な計画づくりを進めています。この計画の目標年度は2050年、計画期間は2023年から2030年までの8年間とし、2023年度の策定・公表に向けて検討しています。今後、計画の素案ができれば、町民の皆様からご意見を伺う機会を考えたいと思いますので、改めてご案内いたします。

■お問い合わせ
政策推進課 ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線235 ☆ 4-251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



しまかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



②しまりんエコポイント事業

徒歩での移動や省エネ型の家電製品の購入など、環境に配慮した行動に対して、町内で使える「しまりんポイント」を進呈します。今年度は5月から2月まで実施予定ですのでぜひご参加ください。

Check! しもりんエコポイントがもらえる取組の例

- ・電力、ガス、灯油消費データの提供
- ・木質バイオマス燃料の購入
- ・省エネ型冷蔵庫の買い替え
- ・空き家バンクへの登録
- ・歩こうしまかわへの参加

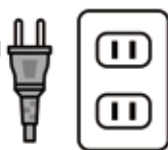


今日から実践!ゼロカーボン

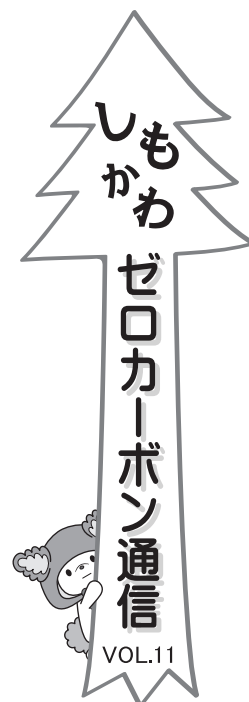
こまめなスイッチオフで節約とCO₂削減を!

家庭の電気消費量のうち、約5%が待機電力で消費されています。こまめなスイッチオフは光熱費を節約でき、CO₂の削減にもつながります。

例えばエアコンの使用時間を1日1時間短くした場合、年間で26kgのCO₂を削減できます。さらに、電気製品のプラグを抜くことで、漏電による火災などの事故防止にもつながります。



③しまかわゼロカーボン通信の発行
町のゼロカーボンの取組を、より多く町民の皆様知ってもらいために、昨年7月より、広報「しまかわ」にて、しまかわゼロカーボン通信を発行しています。



■お問い合わせ
政策推進課 ゼロカーボン推進戦略室
☎ 412511 内線235 ☆ 41251102
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。今回は、5月より始まる「しもりんエコポイント2023」についてご紹介します。

環境にやさしい行動でお待ち！
しもりんエコポイント2023が始まります。

しもりんエコポイントとは

しもりんエコポイントとは、町民が行う環境に配慮した行動に対して進呈するポイントです。町内の「しもりんポイントカード」が使えるお店などで、通常のしもりんポイントとして使うことができます。お得なポイントで家計にやさしく、ゼロカーボンにも繋がりますので、ぜひご参加ください。

実施期間

令和5年5月1日（月）～令和6年2月29日（木）
※2月に活動した分については3月5日（火）までポイント受付を行います

受付時間

月～金曜日 午前9時～午後4時（年末年始を除く）
土日祝日 午前9時～午後3時
※八の市（毎月8日）はお休みします。

受付場所

下川事業協同組合（錦町107番地）

しもりんエコポイント対象メニュー

下線部分は前年度よりももらえるポイントが増加しています。

対象となる活動	進呈ポイント数
しもりんエコポイント2023への参加 しもりんポイントカード番号、お名前、ご住所の登録	<u>200ポイント</u> ／1人1回限り
しもりんエコポイント2023への継続参加 しもりんポイントカード番号、お名前、ご住所の登録	100ポイント／1人1回限り
世帯の詳細データ提供 家族構成、電気契約会社、暖房器具や使用燃料の種類などの登録	<u>200ポイント</u> ／1世帯1回限り
エコに受けつけ エコポイント受付に徒歩もしくは自転車来店	<u>10ポイント</u> ／月1回
電力消費データの提供 消費量を確認できるお知らせなどを持参	<u>100ポイント</u> ／月1回
ガス購入データの提供 購入量を確認できる納品書などを持参	<u>100ポイント</u> ／月1回
灯油購入データの提供 購入量を確認できる納品書などを持参	<u>100ポイント</u> ／月1回
木質バイオマス燃料の購入	2ポイント/kg または 1000ポイント/m ³
電力消費量削減コンテストへの参加	<u>400ポイント</u> ／月
省エネ型冷蔵庫への買い替え	2000ポイント／1回限り
省エネ型家電への買い替え	1000ポイント／1回限り
空き家バンクへの登録	1000ポイント／1回限り
ばくりっこでの購入	<u>10ポイント</u> ／1日1回限り
歩こうしもかわへの参加 歩数計、スマホアプリなどでひと月の歩数を提示	歩数に応じて／月1回
1日平均 2,000歩 もしくは 6万歩/月 以上	200ポイント
1日平均 5,000歩 もしくは 15万歩/月 以上	500ポイント
1日平均 8,000歩 もしくは 24万歩/月 以上	1000ポイント

※「歩こうしもかわ」の参加者で、歩数計をお持ちでない方に貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。貸し出しできる数に限りがありますのでご注意ください。
※電力・ガス・灯油データについては、受付の直近3ヶ月分についてのみポイント付与できます。また、8月・7月・6月請求分のみポイント付与（例：8月受付の場合、8月・7月・6月請求分のみポイント付与）

メニューの詳細については町HPをご覧ください。↓

